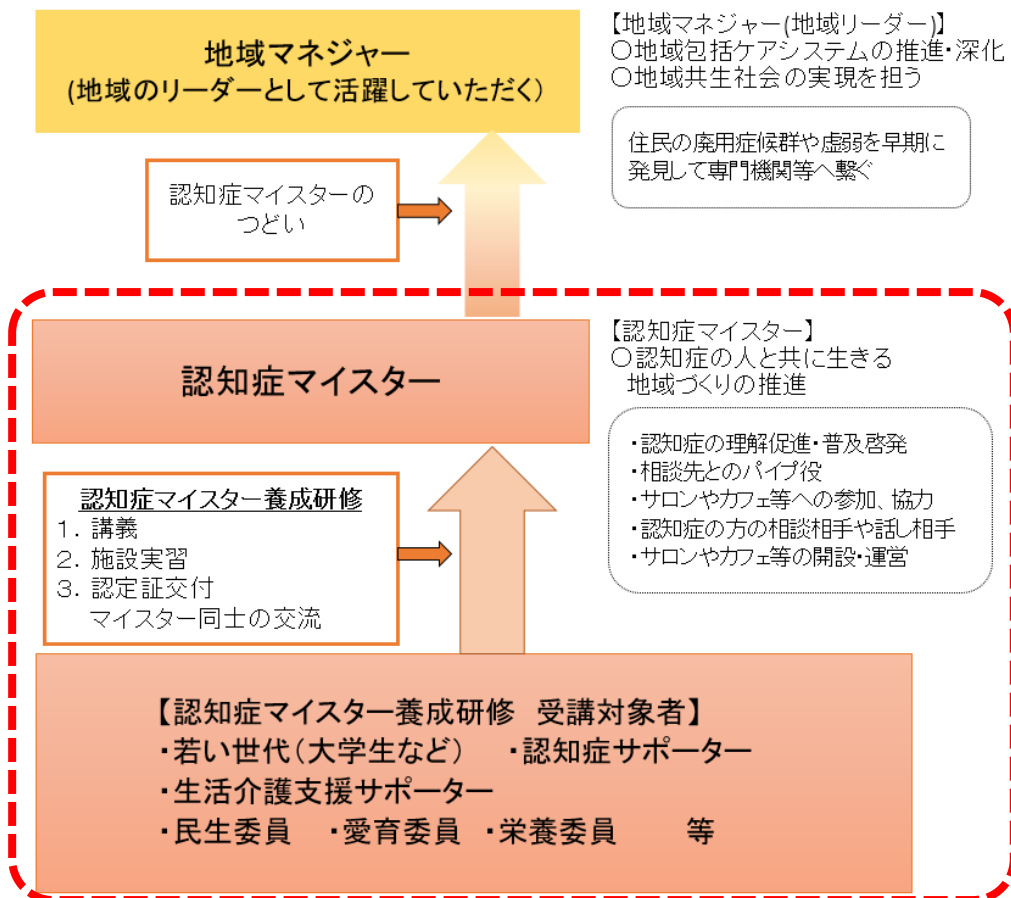


# 倉敷市における認知症マイスターの養成について

連絡先: 倉敷市 健康長寿課 地域包括ケア推進室 086-426-3417

- 認知症の方と共に生きる地域づくりの推進のため、認知症の理解促進・普及啓発、相談先とのパイプ役、相談相手や話し相手、サロンや認知症カフェ等の開設・運営等の担い手を「認知症マイスター」として養成している。
- 水島地区地域ケア会議において、H27年度から実施していた、医師による講義と認知症の方への接し方等を理解するための見学実習を組み合わせた養成研修を発展させ、H29年度から全市事業として展開。  
(民生委員やサロン・認知症カフェ運営者等が受講し、令和元年度末までに126名を養成。)

## 【認知症マイスター養成研修の体系図】



## 【「認知症の理解とかかわり方」講義】 【施設での見学実習】



## 【認知症マイスターと認知症カフェ運営者の交流会】



認知症になっても安心して暮らせるまち,倉敷へ

# 認知症マスター養成研修

## 受講生募集!

年齢を重ねても住み慣れた地域で暮らし続けられる倉敷を目指す中で、これから益々高齢化が進み、認知症の方が増えていきます。誰もがなる可能性のある“認知症”，他人事ではなく、自分事として考えてみませんか？  
そして、認知症の理解をより深め、地域で認知症の方やその御家族を支える認知症マスターになりませんか？

回	内容	日程・場所
1	認知症の方や家族の理解 制度や社会資源 【講師】認知症の人と家族の会 副代表 安藤 光徳氏	令和元年10月3日(木) 14:00~17:00  倉敷市保健所2階201・202研修室 (住所:倉敷市笹沖170)
	認知症の理解 具体的な接し方と対応方法 【講師】川崎医科大学 認知症学 医師 和田 健二氏	
2	交流実習 認知症の方との交流を通じた理解	上記受講時にお知らせし封
3	認定証交付 受講者同士の交流会 「マスターとして私達にできること」 活動の場の紹介	令和元年12月20日(金) 14:00~16:00 くらしき健康福祉プラザ201研修室 (住所:倉敷市笹沖180)

【対象者】倉敷市在住の方で、ボランティアで地域に向けて認知症の理解促進や普及啓発、または認知症の方や御家族に関わる活動を行っている方、もしくは行いたいと考えている健康な方

【定員】50名程度

(申込み多数の場合、抽選させていただき、受講できない方のみ連絡します)

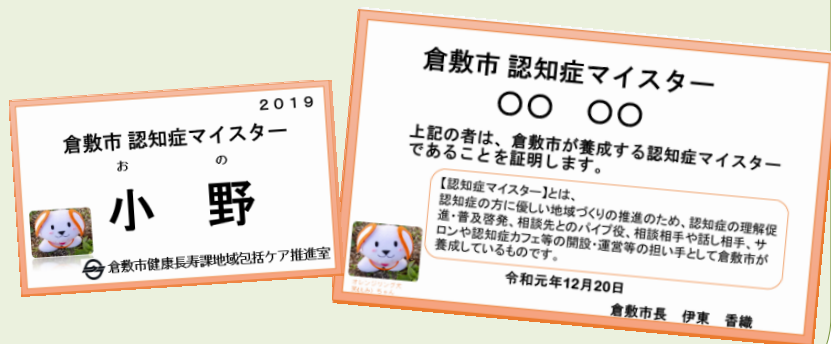
【参加費】無料

【申込方法】裏面の申込書に記入の上、FAX・郵送、または御持参ください。

## ♪ 目指すところ

認知症の方やそのご家族とともに生きる倉敷へ

## 【マスター認定証】



# 認知症マイスターの具体的な活動内容は・・・

## 認知症に関する普及啓発

地域住民に対して認知症の特徴やその症状についての理解や認知症の方へのかかわり方を正しく普及していく。



## 専門職などへの繋ぎ

認知症マイスターの居住する地域の住民，活動団体，サロン等において，認知症で困った方やそのご家族がいれば，高齢者支援センターや地域の保健師に橋渡しをする。

## 認知症に関する取り組みへの参加


地域の認知症カフェやサロン，認知症の方の利用する介護事業所，認知症に関する教室，啓発事業等で，運営の補助や利用者の話し相手となり，認知症の方やご家族の安心につなげる。

## 認知症の方やご家族が安心して出かけられる場の立ち上げや運営

地域の認知症の方やそのご家族を継続して見守り，認知症の方ができる限り住み慣れた地域で生活を続けられるよう，認知症カフェやサロンの立ち上げ及び運営等を行う



# 認知症マイスターとしての活動(一部ご紹介)



認知症カフェへの参加やお手伝いをしている。

コロナ禍で認知症カフェが開催できないため、訪問型認知症カフェをしている。

近くの高齢者の見守りをしている。



オレンジリング犬  
笑(えみ)ちゃん

- ・地域の方への意識的な声かけ。
- ・栄養教室等、参加者の中で、認知機能の低下している方への対応を講義を生かして実践

学区で開催のおしゃべりカフェに誘っています。

近所の高齢者の話し相手になっている。同じ事の繰り返しの話が多いが、相槌を打って聞いている。

認知症サポーター養成講座の開催をしている。

周囲の事業所や一般企業の社員の方への認知症勉強会などを行っている。

認知症状のある親戚のところに行き、話し相手になっている。

